

富士見町60年のあゆみ

昭和30年代～40年代（1963年～）

◎ 昭和38年（1963年）

- 4・1 富士見町章制定
- 4・30 町長、町議会議員選挙 町長樋口隆次当選
- 8・21 富士見小学校、落合小学校水泳プール完成
- 10・1 寒冷地等特殊地域営農改善家畜貸付事業によるホルスタイン乳牛40頭導入



富士見境での五輪聖火引き継ぎ（富士見町・昭和39年）

◎ 昭和39年（1964年）

- 3・1 中央東線甲府～上諏訪間電化完成
- 8・29 富士見高等学校校舎完成（移転）
- 10・1 東京オリンピック聖火富士見高校生により運ばれる
- 11・3 富士見小学校に集団赤痢発生40人

◎ 昭和40年（1965年）

- 7・1 落合保育所完成
（落合小学校内保育所より移転）
- 7・31 町長樋口隆次病氣療養のため退任
- 8・29 町長選挙 植松弥無投票当選

◎ 昭和41年（1966年）

- 6・20 井戸尻遺跡が国（史跡）の指定を受ける
- 10・1 本郷保育所完成
（本郷小学校旧保育所より移転）

◎ 昭和42年（1967年）

- 6・24 富士見町公民館完成
- 9・30 カントリーエレベーター建設、大型コンバイン導入
- 12 菅平方式による八ヶ岳、入笠山麓の保健休養地開発決定

◎ 昭和43年（1968年）

- 5・21 八ヶ岳保健休養地開発事業起工式（鼻戸屋下）
- 10・30 入笠山麓保健休養地開発事業起工式
- 10 国道20号線上蔦木信号機設置
- 12 国道20号線富士見歩道橋設置

姉妹町 西伊豆だより

天草漁 最盛期

寒天の原料である天草漁が5月22日、西伊豆町仁科地区で解禁となり最盛期を迎えています。全国有数の天草産地の仁科地区では、この日を待ちわびた人たちが船で沖に繰り出したり、素潜りしたりして天草を収穫し、次々に水揚げしていました。

収穫された天草は、じゅうたんのようには広げられ、砂浜や漁港周辺で天日干しされていました。水揚げされたばかりの天草は赤むらさき色をしていますが、天日干しを繰り返していくと色がだんだん抜けていき、出荷される頃にはクリーム色に近い白っぽい色になります。

天草はところてんや寒天の材料として、静岡県では平成26年に100トン以上が出荷され、西伊豆町は3分の1を占めています。

皆さんも寒天を口にされる時には、「もしかしたら西伊豆町で採れた天草が原料かも・・・」と思いを巡らせてみてください。



▲砂浜に広げられた天草



▲収穫した天草を水揚げ

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。